

## 交換留学レポート

留学先国・地域	韓国（釜山）	留学先大学名	釜山外国語大学
高知大学での所属	人文学部国際社会コミュニケーションコース	留学先での所属	日本語創意融合学部
留学期間	2018/3/5	～	2018/12/21

### 学習に関すること

交換留学では、語学堂の授業と学部の授業の両方を受けるという方式が多いようです。私は、留学前から独学で韓国語をある程度習得していたので、語学堂には通わなくてもいいかなと考えていました。釜山外大での留学は基本的には学部の授業のみで、語学堂には希望者のみ通えます。そのため、履修したい授業を自由に組むことができるという点が私にはとても良かったです。

韓国語の授業は初級クラスから上級クラスまであるので、もちろん留学後から韓国語学習を始めることも可能ですが、釜山外大では学部の授業をたくさん受講できるというチャンスがあるので、中級以上の韓国語能力を身に付けた上で留学するとより良いと思います。

授業は60分で日本の大学の授業よりも短いため、集中しやすいことが特徴です。また授業形式はグループワークや発表・討論など、自分から積極的に参加しなければならないものが多いです。外国語大学のため、色んな国の学生が在籍しており、その分考え方も千差万別です。授業を通して色んな国の学生の考え・意見を聞くことで、たくさんの刺激を受け、自分の視野も広がりました。

私は授業に加えて、学校主催のボランティア活動にも参加しました。活動内容は、韓国人と日本人の両親の間に生まれた子どもたちに日本語を教えるというものです。韓国人学生を参加対象にした活動だったのですが、事務所に直接お願いし、私も参加させてもらえることになりました。

また、留学中にはTOPIKをぜひ受けてみて下さい。日本では試験が1年に2回しかありませんが、韓国では約1ヶ月に1回試験を開催しています。学習の努力が結果に表れると自信がつき、モチベーションを上げることにも繋がります^^

留学は簡単に行けるものではありませんし、せっかくの機会だということを忘れず、関心のあることは積極的に挑戦してみてください！

### 生活に関すること

私が留学先を釜山外大に決めた大きな決め手となったのが、「日本人学生が少ない」という点です。韓国の名門大学は大部分がソウルにあるため、留学生の多くがソウルに行っています。私も最初は、高知大学が提携しているソウル市内の大学に留学することを考えていましたが、同じ国籍の学生が多いと、どうしても同じ国籍の学生同士で集まりがちになるのではないかという思いから、ソウルの大学よりも比較的日本人が少ない釜山外大を選びました。現地では留學生活において頼れる日本人の友達が少なかったため、留学当初は不安も大きかったのですが、日本人が少ない分、韓国人学生や他の国の学生と交流する機会が増え、自分から求める姿勢が身に付いたと思います。

## 交換留学レポート

私は1学期に校内寮、2学期には校外のワンルームで一人暮らしをしていました。釜山外大の学生寮は校内と校外の2箇所があり、校外寮は女性専用となっています。校内寮は2人~3人部屋でルームメイトの希望を申請することができます(国籍など)。寮内には、食堂、コンビニ、ATM、洗濯室、アイロン室、休憩室(テレビあり)、学習室、ジム、ウォーターサーバー(各階)などがあり、特に不便なく生活することができました。しかし、食堂とコンビニは閉店時間が早いので必要な時に利用できないことが少しストレスになることもありました。部屋は少し狭いですが清潔感があり、エアコンも付いているので快適に過ごせました。昨年の2学期から寮生は食堂の食券の購入が義務化されたそうです。寮食は私の口には合わなかったため、義務化される前に一人暮らしを始めておいて良かったなと思いました。

2学期は校外のワンルームで一人暮らしをしました。韓国のワンルームは大半がフルオプションで、大きな家電はほとんど買う必要がありません。保証金と呼ばれる、契約時に払うお金が10万ウォン~50万ウォンほど必要ですが(解約時返ってきます)、家賃は寮費と大差ありません(私は短期契約だったので少し高かったです)。もちろん、光熱費や寮生活では必要なかった費用がかかりますが、自由な暮らしがしたいなと思う方には一人暮らしをオススメします。

釜山は韓国第2の都市でありながら、日本に近いこともあってどこか懐かしい雰囲気を感じる街です。大学の最寄駅(地下鉄)から約20分ほどの場所に大きな繁華街(西面)があります。西面には釜山のホットな場所がたくさん集まっているので、勉強の合間に買い物やカフェ巡りをして楽しむよ^^

「韓国に行きたいけど、どの街にしよう」と悩んでいる方は、ぜひ釜山へ!!!